

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

資料4

● 部局：市長戦略部

分野：産業・都市・交通・都市経営

前期

施策の柱2-1

企業誘致・定着の推進

施策の柱2-2

新たな価値を創出する産業基盤づくり

施策の柱4-1

次世代型近未来都市の形成

施策の柱4-3

良好な景観と良質な住環境の形成

施策の柱4-4

誰もが移動しやすい交通環境の整備

施策の柱5-2

すその魅力を高めるシティプロモーションの推進

後期

施策の柱2-1

新規企業の誘致・既存企業の定着と連携による地域振興の推進

施策の柱2-2

地域産業のイノベーションとイノベーションの促進

施策の柱4-1

都市構造と土地利用の戦略的な再構築

施策の柱4-3

良好な景観と良質な住環境の形成

施策の柱4-4

誰もが移動しやすい交通環境の整備

施策の柱5-2

すその魅力を活用したシティプロモーションの推進

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱2-1

- 企業誘致に向けた体制や整備手法を構築し、工業用地・団地の創出を明確化するとともに、相談窓口を設け、既存企業の定着を目指す。

○施策の柱2-2

- 新たな価値の創出と課題解決の仕組みを構築し、地域イノベーションを推進することを明確化。

○施策の柱4-1

- ウーブン・シティをはじめとする新たな都市開発や社会変化を踏まえ、これからの社会にふさわしい都市構造の再構築を位置づけ

○施策の柱4-3

- 住宅セーフティネットに関する施策を位置付け

○施策の柱4-4

- 地域公共交通を支える人材確保策を進めるとともに、地域の実情に合わせた新たな公共交通の取組を検討。

○施策の柱5-2

- シティプロモーションの強化とふるさと納税を推進し、効果的に情報発信を行うことで、市の認知向上に努めていく。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：総務部 分野：都市経営

前期

施策の柱5-4

公共施設等マネジメントの推進

施策の柱5-5

持続可能な行財政運営の推進

施策の柱5-6

時代の変化に対応できる人材の育成と組織体制の構築

後期

施策の柱5-4

公共施設等マネジメントの推進

施策の柱5-5

事業効果を最大化する持続可能な行財政運営の推進

施策の柱5-6

市民に寄り添い、裾野市を愛するプロフェッショナルな職員の育成と効率的・効果的な組織体制の構築

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱5-5

- ・ 令和3年発出の財政非常事態宣言を令和7年に解除した。
- ・ 解除時に示した「裾野市行財政運営基本方針」に基づき、今後は財政調整基金10億円以上、実質公債費比率13%以下の2指標を堅持しながら財政の健全化と将来投資の両立をめざしていく。

○施策の柱5-5

- ・ まずは、中長期にわたり財政運営指標（上記2指標）が基準を満たすことを担保するために、15年間の財政推計である「今後の財政見通し」を毎年度更新する。

○施策の柱5-4

- ・ さらに「今後の財政見通し」の精緻化を図るため、15年間の公共施設及びインフラ施設の整備更新予定を示した「今後の公共施設等整備更新見通し」を策定する。

○施策の柱5-6

- ・ 引き続き、人こそが最大の経営資源であるという認識のもと「裾野市人財育成基本方針」に基づき人財育成及び組織開発に注力する。職員一同、「伝わらなければ意味がない」ことを念頭に置き、より一層、市民目線に立ったわかりやすい情報発信を心掛ける。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

● 部局：環境市民部

分野：文化・環境・防災・市民自治

前期

施策の柱1-6

多様性を尊重した共生社会の形成

施策の柱3-1

環境に配慮した持続可能な社会の形成

施策の柱3-2

災害に強くしなやかな地域社会の形成

施策の柱3-3

安全な生活と交通の確保

施策の柱5-1

市民自治によるコミュニティの促進

後期

施策の柱1-6

多様性を尊重した共生社会の形成

施策の柱3-1

環境に配慮した持続可能な社会の形成

施策の柱3-2

災害に強く回復力の高い地域社会の形成

施策の柱3-3

誰もが安心して暮らせるまちの形成

施策の柱5-1

市民自治によるコミュニティの促進

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱1-6

- LGBTQに対する法整備や外国人労働者等の増加傾向などの社会状況などの変化を捉え、理解を深めるための意識啓発など努めます。

○施策の柱3-1

- 生物多様性に関して、将来にわたって豊かな自然環境を守り育て、次世代に引き継いでいくため、自然環境の保全・再生を追記しました。

○施策の柱3-2

- 防災力・減災力の強化として、デジタル技術を活用した災害対策本部の強化や避難所環境の改善のための必要な資機材などの整備について明記しました。

○施策の柱3-3

- 防犯灯などの防犯施設の適切な管理とともに、地域の要望に応じた適切な整備を進めます。

○施策の柱5-1

- 少子高齢化や人口減少による役員不足は、自治会事業に影響を及ぼしている。行政から自治会に依頼する業務の見直しや自治会役員への学習機会など自治会運営の方向性を示しました。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

● 部局：健康福祉部

分野：健康福祉部

前期

施策の柱1-4

こころとからだの健康づくりの推進

施策の柱3-4

安心して暮らせる地域医療体制の確保

施策の柱3-5

地域で支え合う福祉の充実

後期

施策の柱1-4

こころとからだの健康づくりの推進

施策の柱3-4

安心して暮らせる地域医療体制の確保

施策の柱3-5

地域で支え合う福祉の充実

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策1-4

- 学校や地域で「こころの健康」への理解を広めていくことや、相談や訪問により、受診の案内や生活改善の支援を行うこと等を追記した。

○施策3-4

- 地域における医療不足や医療提供体制に関する課題に対応する内容を記載した。
- 法改正により令和4年度から開始した「医療と保健事業の一体的実施」（高齢者が健康で長く自立して暮らせるように、医療と介護の支援をつなげて、切れ目なくサポートする仕組み）の記載を追加した。

○施策3-5

- すべての人が住み慣れた地域で、世代や立場を超えて支え合いながら暮らせる社会を目指す「地域共生社会の実現」に向けた視点を追記した。
- 複合化・複雑化した課題を持つ対象者が、必要な支援につながるよう包括的相談支援体制を整備する視点を追記した。
- 高齢化の進展に伴い、具体的な介護保険事業の方向性を明記した。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：子育て部 分野：子育て

前期

施策の柱1-1

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

後期

施策の柱1-1

子どもの育ちを切れ目なく支える環境づくり

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱1-1

- 初期支援の視点から国の政策方針に合わせ、子どもの成長全体を見据え、切れ目なく支援する方向に転換した。

○施策1-1

- 新たに開設された「こども家庭センター」の機能に合わせた内容に変更し、地域ぐるみで子育てを応援し、切れ目ない相談・支援を充実する方針を記載した。
- 令和6年度策定の「幼児施設整備基本構想（改訂版）や「第3期子ども・子育て支援事業計画」の内容と整合を図った。
- 後期は、保育と幼児教育について、こども園化を見据えて施策を統合し、共に質の向上を目指すこととした。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

● 部局：産業振興部

分野：産業・観光

前期

施策の柱2-3

商工業の活性化の支援

施策の柱2-4

特色を活かした農林業の振興

施策の柱2-5

地域が潤う観光まちづくりの推進

施策の柱2-6

富士山麓の魅力を活かしたスポーツツーリズムの推進

後期

施策の柱2-3

商工業の活性化の支援

施策の柱2-4

特色を活かした農林業の振興

施策の柱2-5

魅力ある観光地の実現

施策の柱2-6

富士山麓の魅力を活かしたスポーツツーリズムの推進

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱2-3

- 地域の賑わい創出を目指し、産官学金労言の連携や支援手法の具体化を通じて、地域の実情に即した具体的かつ実効性の高い商工業振興策が可能となる内容へと進化しました。

○施策の柱2-4

- 農林業振興施策は、イチゴの戦略作物化や担い手支援、市民参加の促進など、実効性と多様性を重視しました。

○施策の柱2-5

- 魅力ある観光地の実現に向けて、方向性を明確化し、観光関係者との連携による持続可能な地域づくりと、具体的な課題への対応を通じて、地域経済への波及と観光の質の向上を目指します。

○施策の柱2-6

- スポーツツーリズム施策は、市民交流中心から、地域資源を活かした官民協働による交流人口の拡大と地域活性化を目指す、より実践的の方針としました。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：建設部 分野：都市・社会基盤

前期

施策の柱4-2

駅周辺等の拠点づくりと多様な世代の交流の促進

施策の柱4-5

利便性の高い道路網の整備・保全

施策の柱4-3

良好な景観と良質な住環境の形成（公園部分）

後期

施策の柱4-2

駅周辺等の拠点づくりと多様な世代の交流の促進

施策の柱4-5

利便性の高い道路網の整備・保全

施策の柱4-3

良好な景観と良質な住環境の形成（公園部分）

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱4-2

- これまでのハード整備中心の拠点づくりから、ソフト面も踏まえた賑わいづくりをめざします。

○施策の柱4-5

- 既設の基幹道路については、維持修繕を計画的に実施、今後、整備を行うものは、周辺のまちづくりを想定し、市の発展に資する整備を行います。

○施策の柱4-3

- 新規公園の整備を行いながら、既存の公園のリニューアルを行い、多世代の市民でにぎわうような、イベントなどでの活用を促進します。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

● 部局：デジタル部

分野：都市経営

前期

施策の柱5-3

市民サービスの向上を目指すスマート自治体の推進

後期

施策の柱5-3

デジタル技術の活用を前提とした継続的な業務改革による行政サービスの質向上

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱5-3

- 市民が「行かなくても済む」「行ってもすぐ終わる」「安心して相談できる」行政サービスを、デジタル技術の活用を前提とした継続的な業務改革と、職員一人ひとりの共感力・連携力によって実現します。
- 前期では、オンライン申請や窓口予約・発券システムの導入など、行政手続の利便性向上に取り組み、スマート自治体としての基盤を築いてきました。後期では、こうした取組をさらに深化させ、来庁データや市民ニーズを分析し、待ち時間の短縮や手続きの個別最適化を進めます。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：水道部 分野：社会基盤

前期

施策の柱4-6

豊かで良質な水道水の安定供給

施策の柱4-7

衛生的で快適な下水道の整備・
保全

後期

施策の柱4-6

豊かで良質な水道水の安定供給

施策の柱4-7

衛生的で快適な下水道の整備・
保全

変更ポイント（施策の柱と施策）

○施策の柱4-6

- 施策の柱と施策については変更なし。
- 現状と課題の中に「有収水量が減少している」という行政用語が使用されていたので、「無駄をなくし効率的な事業運営を進める」という市民目線の言い回しに変更した。

○施策の柱4-7

- 施策の柱と施策の内「安定的な使用料収入の確保」の説明文を「定期的に公共下水道事業経営戦略の改定を行い、適正な使用料を検討します」という簡潔な表現に改めた。
- ありたい姿が前期では「健全経営」と「環境整備」であったが、後期には「持続可能な施設管理」を追記した。
- 現状と課題の中に「マンホールポンプなど機械・装置の一部は、今後更新する必要があります」の文言を追記した。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：教育部 分野：教育

前期

施策の柱1-2

次代を担う子どもの教育の推進

施策の柱1-3

ライフステージに合わせた生涯学習の充実

施策の柱1-5

スポーツ・歴史・文化・芸術に親しむ環境づくり

後期

施策の柱1-2

次代を担う子どもの教育の推進

施策の柱1-3

ライフステージに合わせた生涯学習の充実

施策の柱1-5

スポーツ・文化・芸術に親しむ環境づくり

○施策の柱1-2

- ・ 多様性に満ちた教育を実践し、「すそのCOCOLOプラン推進（不登校生徒児童支援体制強化）」や「インクルーシブな教育（子どもたちが公平に学ぶ機会を得て、一人ひとりが持つ個性や能力を伸ばし、社会で生き生きと暮らす力を育む）」に取り組む
- ・ 学校再編を着実に推進し、教職員の働く環境を整える。

○施策の柱1-3

- ・ 「地域と共にある教育」として、学校・家庭・地域が繋がり、学校を核とした地域づくりを推進するための住民や団体を支援
- ・ 家庭教育の推進手段として「ラーケーション」を制度導入し、親子の学習の場として活用する。

○施策の柱1-5

- ・ 「部活動の地域展開」を切り口とした、スポーツ、文化芸術に親しむ機会を確保する。（NPOアクティブすそのを中心とした取組み強化）
- ・ 市民の文化芸術に触れる機会を確保する。
- ・ 指定文化財によるイベント実施等、体験型文化財への活用の見直し。

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：議会事務局 分野：都市経営

前期

施策の柱5-7
開かれた議会運営の支援

後期

施策の柱5-7
開かれた議会運営の支援

変更ポイント（施策の柱と施策）

- ・従来と変更はありません

後期基本計画改定案 部（分野）別改定ポイント

- 部局：監査委員事務局 分野：都市経営

前期

施策の柱5-8
適正な監査事務の促進

後期

施策の柱5-8
適正な監査事務の促進

変更ポイント（施策の柱と施策）

・特に変更点はありません。引き続き市政の信頼性を確保するために適正な監査を実施します。